

踊場連合だより No.108

発行日 令和2年6月25日

発行 踊場地区連合町内会 会長 菊池賢児 編集 広報委員会 委員長 渡邊こずえ 部数 5200部 印刷 フルヤ特殊印刷 TEL 823-3749

新年度スタート

令和2年度が始まりました。

踊場地区連合町内会会長 菊池賢児



昨年度2月末から日本中が新型コロナウイルス感染拡大防止に努めることとなり、地域におかれましても年度をまたがる様々な活動が厳しい状況となりました。踊場地区連合町内会におきましても、感染予防のため多人数での会議の開催を見送ることとしたため、2月から常任理事会の延期が続きました。

しかしながら、文書表決となりました総会議案は賛成多数により全て承認され、総会予定日であった5/10より新年度の活動がスタートしています。地域の活動方針を「安心して楽しく暮らせるまち・踊場」として全員参加型のまちづくりを進めてまいります。活動はこれまで通り地区社会福祉協議会各自治会町内会が力強く相互に協力し合うまちとしていきたいと考えています。

今般の社会情勢の影響により例年通りの地域イベントの開催が困難なことも推察されますが、皆さんとともに健康第一を念頭におきながら楽しい活動となりますよう、ご協力をよろしくお願いします。

（以下略）

平台町内会創立50年

平台町内会会長 石橋 重則

平台町内会は令和元年に創立50周年を迎えました。発足当初（昭和44年）の町内は55世帯の家が点々と建っている状況で町内会が誕生しました。

その後も安心・安全に暮らせる町を目指し、様々な困難を克服し町づくりして来た先人の方々のご努力と近隣の町内会のご支援に感謝を申し上げます。

現在の平台町内会世帯は560世帯を超えるまでになりました。

平台

HIRADAI
50th

記念誌

平台行事は、納涼祭、運動会、餅つき、サロン等を開催し、各専門部も活動しています。町内で育った子どもさんが我が家との行事に参加できる企画を推進しています。これからも安心・安全・地域の絆を大切にするまちとして町内会員が一体となって町づくりを推進していきます。

50周年ロゴ



東汲沢小学校の校章（ぐみの実）

平台は高台にあり桜が散っている風景

町内から美しい富士山が望める

踊場地区連合町内会 令和2年度の事業計画

「安心して暮らせるまち・踊場」を実現するために、皆さんのライフステージに配慮したまちづくりと地域活動をおこなっていきます。そして、住んでいる皆さん全員が地域の未来を考え、魅力あるまちづくりとなる「ONE踊場」(ワン オドリバ)の活動を継続します。具体的には次のような事業を展開します。

〈令和2年度事業目標〉

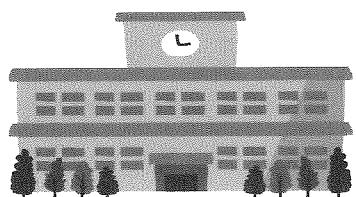
- 踊場地区のまちづくりを推進するため、全ての住民との一層の話し合いを進める。
- 踊場地区社会福祉協議会との強力な連携を図る。
- 各自治会町内会での課題を地域全体の課題としてとらえ、解決策を検討する。
- 高齢者とやさしくふれあう活動を推進する。
- 防災活動を積極的に展開し、各自治会町内会の消防訓練を支緩するとともに避難や火災対策、防犯対策に取り組む。
- スポーツ活動などを通じ、地域ぐるみの健康維持増進を図る。
- きれいなまち、みどりあるまちを目指し、踊場らしい風景づくりをおこなう。
- 「皆でつくる地域」をめざし、広報活動を充実させ情報共有を強化する。
- 防犯活動として巡回パトロールの強化を図る。
- 「3R夢プラン」の更なる推進を図り、地域環境の向上に努める。
- 学校や地域施設との連携を図り、協働で課題解決を図る。
- 近隣の連合町内会との連携を推進する。
- 魅力あるまちの実現を目指して、新たな開発への対応を検討する。

学校の再開

新型コロナウイルス感染拡大防止の為にお休みだった学校が 6月1日から、段階的に再開されました。

6月12日までは「分散登校」、各クラス少人数で半日程度の短時間授業でしたが、久しぶりの友だちや先生との再会に笑顔がたくさん見られました。

6月2日開港記念日も授業だったよ



踊場地区連合町内会 令和元年度決算・2年度予算

【収入の部】		(単位:円)
項目	元年度決算	2年度予算
年 度 收 入	会 費 1,734,840	1,746,000
	各 種 助 成 金 1,070,704	969,966
	雜 収 入 130,000	0
	銀 行 利 息 21	0
	収 入 計 2,935,565	2,715,966
	前 年 度 繰 越 金 3,345,186	3,224,921
収 入 合 計 6,280,751		5,940,887

【支出の部】		(単位:円)
項目	元年度決算	2年度予算
連 合 活 動 費	事 務 費 231,196	130,000
	会 議 費 100,859	100,000
	会 館 使 用 料 95,200	100,000
	通 信 ・ 交 通 費 78,276	80,000
	事 業 費 607,069	650,000
	活 動 助 成 費 594,313	680,000
	涉 外 費 97,508	130,000
	分 担 金 90,000	120,000
	防 災 費 0	10,000
	予 備 費 411,409	100,000
小 計 2,305,830		2,100,000
助 成 金	事 業 運 営 費 235,000	205,000
	活 動 助 成 費 515,000	495,000
	小 計 750,000	700,000
	支 出 計 3,055,830	2,800,000
次 年 度 繰 越 金 3,224,921		3,140,887
支 出 合 計 6,280,751		5,940,887

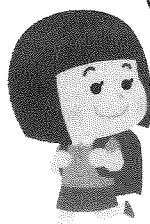
みんなと会えて嬉しい

6年男子



学校がたのしい

1年男子



家よりたのしい

2年女子



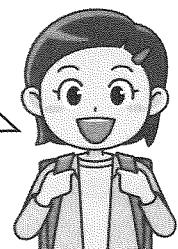
家の時間が長かった、

宿題も早く終わってしまい

やることがなかった、

また始まってうれしい

4年女子



**踊場地区社会福祉協議会
令和2年度の事業計画**

踊場地区社会福祉協議会は、4月末に書面決議にて総会を行い本年度のスタートをしました。「安心して暮らせるまち・踊場」を実現していくため「ワン踊場」として、連合町内会をはじめ、地域の学校や施設・活動団体などと連携・協力をして活動していきます。今期はコロナウイルスの影響がどこまで拡大するかわからない中で始まりましたが、「ふれあい昼食会」「ふれあいカフェ」秋の「おどりば文化まつり」など安全を図りながら慎重に事業を進めます。各専門部も感染拡大防止を考慮しながら、それぞれの事業計画のもと、地域を支え、ふれあい・見守りを推進する活動を開始しています。また、ちょっとボランティア・ひよこクラブ・赤ちゃん訪問事業や、サロン活動・健全体操・配食サービスへの事業支援など幅広く実施しています。コロナウイルスの第2波・3波の感染爆発も言われており、安全を考慮した柔軟な対応が必要と考えています。

**踊場地区社会福祉協議会
令和元年度決算・2年度予算**

【収入の部】		
項目	元年度決算	(単位:円) 2年度予算
市社協助成金	50,000	50,000
区社協助成金	294,000	255,000
連合助成金	750,000	700,000
その他の助成金	39,000	39,000
社明運動実施支援金	30,000	30,000
昼食会参加費	11,500	10,000
謝金	5,000	0
前年度繰越金	132,460	232,990
収入合計	1,311,960	1,316,990
【支出の部】		
項目	元年度決算	(単位:円) 2年度予算
事業費	484,703	544,000
ふれあい昼食会	125,769	170,000
サロン活動	100,000	100,000
子育て支援活動	30,000	30,000
ボランティア支援	30,000	30,000
訪問活動支援	63,430	69,000
ちょっとボランティア	5,000	5,000
おどりば文化まつり	130,504	140,000
研修費	0	10,000
事務費	38,671	45,000
事務消耗品・印刷	20,831	25,000
会館使用料	7,860	8,000
交通通信費	9,980	12,000
会議費	8,902	20,000
涉外費	35,074	60,000
内 許 各種交流費・祝金	35,074	50,000
慶弔費	0	10,000
活動助成費	501,620	495,000
内 許 民生・児童委員	130,000	110,000
保健活動推進員	30,000	30,000
交通安全協会	89,412	90,000
交通安全母の会	44,808	45,000
青少年指導員	87,400	100,000
消費生活推進員	25,000	25,000
老人クラブ連合	50,000	50,000
保 護 司	45,000	45,000
会費	10,000	10,000
予備費	232,990	132,990
支出合計	1,311,960	1,316,990

踊場町内会会館新築落成

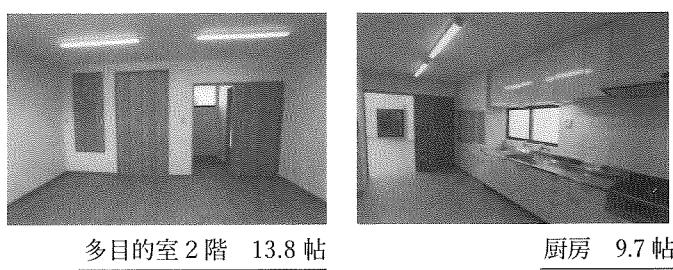
踊場町内会は、本年創立80周年の佳節を迎える年に成りました。踊場町内会の誕生は昭和15年12月5日に、初代会長に安西佐太郎氏が就任と共に結成されました。そして昭和36年4月8日に旧踊場町内会館が落成してから、59年間の長きにわたり踊場町内会の活動拠点として参りました、平成29年に防災拠点としては、耐震診断の結果震度5強の地震に著しく危険との結果を重視し、会館建設準備委員会を立ち上げました。平成30年度総会に会館建設を提案し賛同を得て、即座に建設委員会に切り替え準備を開始し、平成31年度総会で建設決定、令和元年8月29日に起工式を挙行し、令和2年1月31日に晴れて完成の運びと成りました。

その後世界・日本国内に新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3密の自粛をする「緊急事態宣言」が発せられ、残念なことに3月22日予定の新会館落成式典を延期せざるをえなくなりました。未だにお披露目できなく残念ですが、立派な町内会館ができましたので、新型コロナウイルス感染の終息と、地域の皆様方にご利用頂けますよう心より祈っております。

(踊場町内会 会長 加藤 満久)



延べ床面積 219.65 m² (67坪)



よろしくお願ひします

戸塚区こども家庭支援課 課長 上原 嘉明



この春、戸塚区役所に参りました上原嘉明(うえはら よしあき)と申します。

これまで、児童相談所や青少年相談センターなど、主に児童福祉分野で勤務をしてまいりました。

自然災害や感染症など心配事の多い昨今ですが、地域の皆様とのつながりを持って、より良い地域づくりのために連携をさせていただければと思います。皆様から踊場地区の良いところを教えていただきながら、馬上係長、渡部係長とともにチームで取り組んでまいります。

どうぞよろしくお願ひいたします。

戸塚区こども家庭支援課 係長 渡部 清香



4月より戸塚区役所に参りました渡部清香(わたなべさやか)と申します。

3月までは五輪組織委員会に4年間出向し、野球・ソフトボール競技の担当をしていました。それ以前は西区役所で地域力担当をしておりました。

地域の皆様とご一緒できることにワクワクしています。経験不足のところが多くございますが、踊場連合の皆様との出会いを大切に、円滑な地域連携に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

東汲沢小学校 校長 丹羽 正昇



この度、東汲沢小学校校長として着任しました丹羽正昇(にわまさのり)と申します。

ご存知の方も多いかと思いますが、本校の学校教育目標は、「学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子」です。

本校では、豊かな教育活動を通じて、自ら社会とつながりをもつとする子どもの育成を目指しています。

踊場地区連合町内会の皆様には、日頃から、子どもたちに身近な社会とのつながりを意識させていただいており、感謝の念に堪えません。

引き続き、「ひぐみっ子」の成長に温かいエールを頂戴できますようお願ひ申し上げます。

戸塚高等学校 校長 植松 聰



今年度より戸塚高等学校校長として横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校より異動してまいりました植松聰(うえまつさとし)と申します。

教育委員会、中学校と経験し、7年ぶりに高等学校へと戻ってまいりました。踊場地区連合町内会の皆様には、日頃より多くの取り組みにご協力いただいておりますが、引き続きご支援を賜りますようお願い致します。

微力ながら尽力させていただきますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

踊場地区センター 館長 大須賀 彰彦



4月1日に着任いたしました大須賀彰彦(おおすががあきひこ)と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

踊場地区の皆様には日頃からセンターの運営に多大なご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

ご案内のとおり、世の中が新型コロナウイルスの対策に追われ、センターも臨時休館の状態が続いておりましたが、今回の事は感染症の恐ろしさはもちろん、何気ない日常の有難さを改めて痛感させられた思いがいたします。完全に収束するまでは皆様の安全のため、ご利用に当たりご不便をおかけすることもあるかと存じますが、どうかご理解くださいますようお願ひいたします。

今年度の「イベント情報紙」は各団体がコロナウイルスの影響により計画が立てられないため発行をしません。開催の際は、回覧・掲示板でお知らせします。

編集後記

いつも読んでいただきありがとうございます。
今年度は多数のイベント中止を余儀なくされる状況であります。その中でも伝えられるものを掲載してまいりますので、よろしくお願ひします。

〈メンバーが変わりました。〉

委員長：渡邊 こずえ

副委員長：浜野 俊一

顧問：猪狩 秀雄

委員：新倉 卓 石田 久乃

牛頭 あゆみ 伊藤 市郎

白土 麻里子 渡田 宏